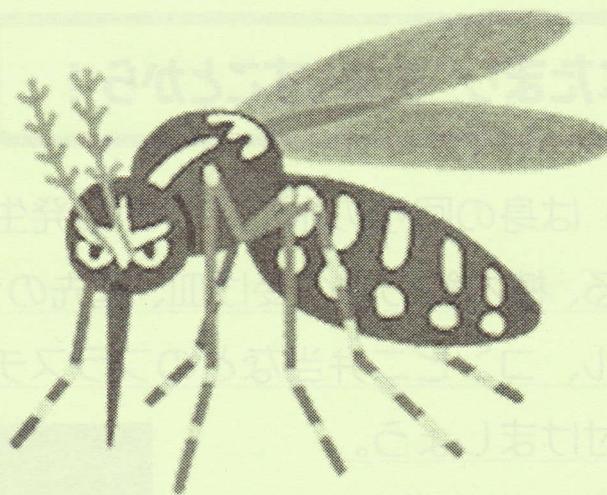


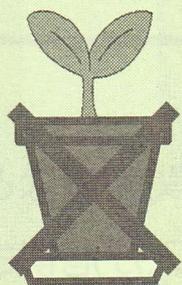
デング熱・ジカ熱の原因となる

か

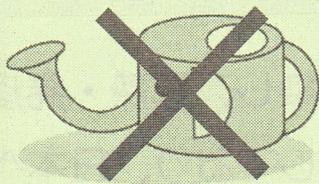
蚊の発生を防ごう



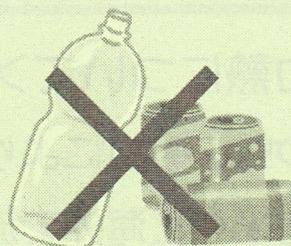
デング熱やジカ熱(ジカウイルス感染症)の原因となる蚊(ヒトスジシマカ)は、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。蚊の発生予防のため、住まいの周辺に水たまりを作らないようにしましょう。



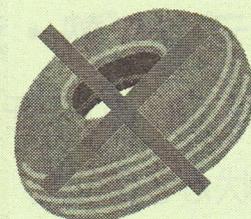
植木鉢の皿



雨ざらしのじょうろ



屋外に放置された
空き缶やペットボトル



古タイヤに溜まった水



地域の環境美化は、蚊の発生を防ぎ、感染症の流行を防ぎます！

デング熱やジカ熱（ジカウイルス感染症）などの感染症は、蚊の吸血によって伝染します。国内での流行を防ぐためには、地域の環境美化をはかり、蚊の発生を防ぐことが重要です。



蚊の予防は、“水たまり”をなくすことから！

蚊の幼虫（ボウフラ）は身の周りの水たまりから発生します。水たまりのもとになる、植木鉢の水の受け皿、庭先のジョウロやバケツ、空き缶、ペットボトル、コンビニ弁当などのプラスチック容器、古タイヤなどを清掃し、片付けましょう。

また、蚊の成虫は、背の低い草むらなどに潜んでいます。雑草を刈り、風通しを良くすることで、蚊の生息地を減らすことができます。



<デング熱・ジカ熱について>

主にウイルスを持つ蚊の吸血により感染し、発熱・発疹・関節痛などの症状が出ます。中南米など海外で流行しており、日本へ流入が危惧されています。また妊婦がジカ熱にかかった場合には、胎児に小頭症を引き起こす危険性があると言われています。

